



日本遺産
藍のふるさと阿波
～日本中を染め上げた
至高の青を訪ねて～

yoshinogawa city

故郷を知る!!

第69回



黎明期の鴨島の阿波おどり

阿波藍の販売で莫大な富を得た藍商人は、徳島の花柳界での型破りな豪遊でお座敷芸として踊られていた阿波おどりを洗練した踊りにし、また、藍商人の大坂市場への進出は上方文化の交流を促し、阿波おどりのリズムに影響を与えたと言われている。

鴨島町誌〔昭和39(1964)年3月刊〕「第6章 明治以後の娯楽」に、鴨島の阿波おどりについて次のように記載されている。

「鴨島で阿波踊りが実施されるようになったのは、敗戦後の昭和24、5(1949、50)年頃から流行を来し、徳島市にならって町でも踊り手が増し、今や例年〔昭和30年代後半頃(1960)〕鴨島駅構内に栈敷を設けて踊りのコンクールを催して北方第一の盆の娯楽場となっている。集团的踊りの連は、筒井製絲連、片倉製糸連、徳電連、四電連、役場連、療養所連、協同病院連、明治乳業連、きらく連、若菊連、ミスズ連、渦巻連、親和連」と以上のように記されており、記載13連中、職場で構成する企業連が8連記載され6割を占めている。現在の見える踊りや企業PRではなく、娯楽の少なかった当時では職場の福利厚生も兼ねて、娯楽として参加していたということが読み取れる。



昭和46(1971)年鴨島町勢要覧掲載写真

青少年育成補導

牛島小四年 大宅 諒汰
おてつだいつかれた母を助けるよ

森山小六年 三好 琥珀
すきまから相手の影がいざ勝負

鴨島小三年 山根 ゆい
あわおどりみんなでおどる楽しいな

西麻植小四年 阿部 心音
花火はね空の花だよきれいだな

高越小六年
ハートフィール明希
夕焼けの夕日に光る赤とんぼ

「ぶんげい麻植第19号」より

家庭でできる非行防止のポイント！

- ★子どもの生活を、関心をもつて見守りましょう。
- 「うちの子は大丈夫」などと思わず、しっかり注意してみましょう。
- 子どもの外出や帰宅時間などを把握し、子どもが外出する時は「行き先、誰と、何を、帰宅時間」など聞くようにしましょう。
- 夜遅くに歩いたり、無断外泊したりしていないか注意しましょう。
- 子どもが日頃、誰と遊んでいるか把握しましょう。
- 日頃から、あいさつや会話など、子どもと接する時間を心がけ、親子のコミュニケーションを図りましょう。

「いかのおすし」で不審者を撃退！

- ①知らない人についていかない
- ②知らない人の車にのらない
- ③連れていかれそうになったらおおきな声で叫ぶ
- ④連れていかれそうになったらすぐにげる
- ⑤大人にすぐしらせる

ちょっとしたことから危険な場面に遭遇したときまで、この「いかのおすし」で、安全・安心に子どもが地域で活動できるよう、保護者の皆さんも一緒に覚えてみてください。また、地域の「知らない人」から「知っている人」への変身もお願いしたいと思います。

★子どもは地域の宝です。

家庭・地域で非行や不審者から子どもたちを守りましょう。

連絡先・問い合わせ
市青少年育成補導センター
TEL 25-6620
FAX 25-6621

東野リキュールの本格梅酒

三人で仲よく梅酒を造り精一杯おもてなししています



ホーホケキョ 白竜峡 高越山 紅竜峡 梅酒蔵

東野リキュール製造場 東野 宏一
TEL 0883-43-2216
FAX 0883-43-2212

法要会席



ハートプラザ住友 088-695-3224

故人を偲ぶ「来館法要料理」

4,400円～ (税抜4,000円)

箱膳会席



◆白飯とお漬物、サービス

◆無料送迎バスを完備！
※10名様以上のご利用の方に限ります
※おつとめ後のお墓参りもバスでお廻りいたします

◆仏様のお霊具膳
1個324円 (税抜300円)
※おつとめの始まる時間までにお届けいたします

※会場は全て「椅子席」でのご準備となります
※季節によりメニューを変更しております
※写真は一例です



ROOMY

あなたはどう派のROOMYST?

スタンダード カスタム

ネッツ徳島吉野川店

吉野川市鴨島町西麻植字麻植市56-28 TEL.0883-24-3171
●定休日 月曜・第2火曜 ●営業時間 10:00～18:00 (サービス入庫受付は17:00まで)

